

# 桜中だより

長崎市長  
桜馬場中学校  
校長 大塚 潤

今こそ 解き放て 情熱を 掴み取れ 勝利を

## さあ来い 中総体 3日目応援に行きたいね

来る8日(土)から3日

大会です。

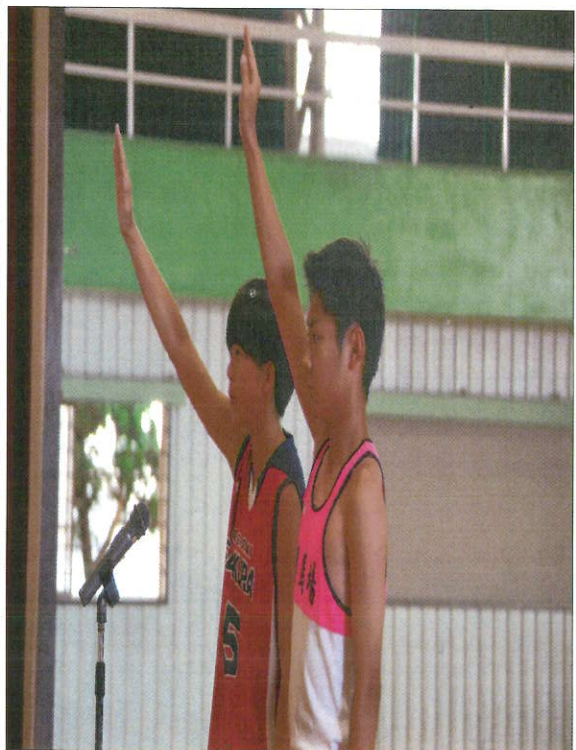
間、長崎市中学校総合体育大会が開催されます。この大会は感謝の心を育み、友情の輪を広げながら、力と技を競い合い、感動を心に刻み込んできた長崎市中学生の歴史ある

大会中、生徒は部活動単位で行動します。部活動以外の生徒が応援に行く場合は、心得を遵守した上で、仲間への応援に足を運んでください。

3日目に勝ち進んだ団体競技があれば、会場場所や応援制限などを考慮して、可能な範囲で応援を検討します。

4日(火)に、選手推薦式を行いました。推薦を受けた選手一人一人の瞳

熱い堂々の選手宣誓



は「さあ、やるぞ!」という意気込みで輝いていました。

「今こそ解き放て 情熱を 掴み取れ 勝利を」

これは、今年度の県高総体のスローガン。

選手の皆さんは、これまで苦しかった日々を乗り越え、熱き仲間とともに限界に挑戦しながら、それぞれの「勝利」を目指して頑張ってきたことと思います。

ぜひ、それぞれの思いを一分一秒のプレーに込め、そして、それぞれの頂点(目標)を目指して、しっかりと戦ってほしいと強く願っています。

また、桜中の代表として、誇りをもってそして、各部の名譽にかけて、精一杯プレーをしてください。

「頑張れ」という一秒の言葉で選手は勇気をもらい、熱く燃えます。あなたの声援は、選手を奮い立たせ、勇気づけ、気力を振り絞らせれます。そして、勝

敗を超えた賞賛の拍手は会場に集うみんなに感動を与えます。盛大な応援をお願いします。

長崎市中学校総合体育大会応援生徒心得を示します。

### 応援生徒心得

◆外出時間  
1 午後7時までは必ず帰宅する。

◆服装について  
1 応援時の服装は、原則として制服とする。

◆行動について

1 中体連から示されている各競技の応援規制や応援のマナーを守る。

2 大会を運営されている先生方や施設の係員の指示に従う。

3 応援者に開放されている場所以外には立ち入らない。

※関係者以外立ち入り禁止区域、選手控室・更衣室などには立ち入らないこと。

4 立ち食いや周囲の迷惑になる飲食をしない。

5 ごみは各自で持ち帰る。

6 恐喝、窃盗、暴力行為にあつたら直ちに近くの警察署や交番に届け、必ず学校にも連絡する。

7 個人情報保護のため、個人が特定される画像・動画の取り扱いについては責任を持ち、SNS等への掲載は絶対にしない。

### 主将からの決意

□男子バドミントン部  
主将 3年1組

約2年間、続けてきて、途中つまづいたこともあったけど、そんなときに助けてくれた仲間、顧問の先生、保護者のみなさんに恩(感謝)を行動で示します。試合では、勝利を目指しますが、悔いのない戦いを目指したいです。

泣いても笑ってもこれが最後! 2年間の自分に挑戦!!!

□陸上部主将  
3年4組

僕たち陸上部は中総体に向けて日々の練習や大会を頑張ってきました。陸上競技は個人競技です

が、だからこそチームワークが大切だと思います。仲間がいなければきつい練習も頑張れなかったと思うし、大会の時には仲間の応援があつたからこそいい走りができたと思うからです。みんなそれぞれ不安や緊張もありますが、今までしてきた努力を思い出して全員が自己別とが出来るよう頑張ります。応援よろしくお願いします。

□女子ソフトテニス部  
主将 3年3組

女子ソフトテニス部は、個人戦、団体戦共に県中総体出場を目標にしています。私達はこれまで個人戦でベスト16、団体戦でベスト8まで進むことが出来ました。

だから、最後の中総体では、更に上を目指したいと思っています。今まで支えてくださった顧問の先生方、コーチ、保護者の皆さん、そしてなんといつてもチームの仲間たちに感謝の気持ちを含めて、悔いが残らないよう全力で頑張ります。



## 推戴式校長講話

試合をしたりコンクールに出場したりすれば、勝ち負けや評価が必ず付いてきます。勝つて次の試合、上の大会に出場できることが一番望ましいことですが、相手も同じような気持ちで臨んできます。勝つことは並大抵ではないことも予想されます。また、勝負は運に左右される場合もあります。だから、最後の大会となる3年生のみなには、心を落ち着けて、自分のプレーに専念し、力を発揮してほしい。試合を、大会を思いっきり楽しんでほしい。約2年半、苦勞を共にしてきた仲間と戦える時間を心から楽しんでほしい。たとえ負けたりとしても、自分が、チームが納得のいくプレーができていれば、後悔することとは少ないはず。相手に敬意を表することもできる。

います。相手に勝つことよりも、「自分の弱さに打ち勝つこと」の方が、100倍も大切。勝ち負けは、「勝つための努力」を一生懸命にした後についてくる結果に過ぎない。結果よりもそこに至るプロセスがどうだったかを問うことに部活動の価値がある。「勝ちたい」と思うことよりも「自分に負けない」という気持ちの方を強くもって戦ってきてください。戦うのは、相手ではなく、弱い気持ちになる自分です。

大会まで今日も含めるとあと4日もあります。改めて、目標を達成するためにあきらめずに粘り強く続けてきたこと、仲間を励まし合っていること、これまで練習を頑張り絆を深めたことをしっかりと思い出してほしい。「よく頑張ったぞ！自分」と自分のがんばったことに誇りと自信をもって戦ってほしい。部活動が、人生のいい修業の場であつたと思えるような中総体にしてほしい。



春徳寺通りの紫陽花

## 紫陽花の花に思うこと

6月に入り、あじさいが美しく咲いています。中島川沿いの紫陽花もとってもきれいです。

私の好きな詩人に坂村真民さんという人がいます。真民さんは、あじさいをはじめ、タンポポなどの花の詩を多く書いています。

真民さんの「念ずれば花開く」という詩や、「二度とない人生だから、一輪の花にも無限の愛を注いでゆこう」と始まる「二度とない人生だから」という詩をご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

さて、真民さんの「あじさいの花」という詩を紹介します。

「まるくまるく 形のよいものになろうとする やさしい心のあじさいの花 きうよりもきょうと 新しい色になろうとする 雨の日のあじさいの花」

紫陽花という花は、花弁に見えるところは萼(がく)で、本当の花は、中心部に小さく咲いています。

紫陽花は、花や萼が集まって、詩にあるように「まるく形のよいものになろうとする」ことから、地方によっては「一家団欒」や「家族の強い結びつき」を表すと、受けとるところもあるようです。紫陽花を「手鞠花」と呼ぶのも、この丸い形からでしょう。

また、日を追って色を変えるところから「七変化」と呼ぶこともあります。真民さんは、紫陽花に優しさと共に、昨日よりも今日と変化し、向上しようとする心を感じとったのではないのでしょうか。

最後に、真民さんの花の詩の中から、二編紹介します。

1つ目です。「美しい花より よい香りを持つ花がいい 美しい人より よい性質の人がいい」

真民さんは、花の見た目よりその香りに惹かれています。外見より内面が大事だということですね。

2つ目の詩です。「花には散った後の悲しみはない ただ一途に咲いた喜びだけが残るのだ」

花は必ず散ってしまいますが、それを悲しみと捉えず、咲いていたときの喜びだけが残ると思っています。真民さんの生き方が、まさにこの花のようだったと思います。「二度とない人生だから」と「今」を生きた方でした。私達もいつかは散るときが来るのですが、その時、生きてきてよかった、精一杯生きたなと思えるように、今を大事に生きたいものです。